

施設名	関西電力病院
-----	--------

2017年度のAct : カンファレンスによって抽出されたチームの課題・問題点			
Act1	緩和ケアチームへの依頼方法や周知内容、手段の周知が不十分である		
Act2	依頼元、特に看護チームとのカンファレンスの機会が少ない		
Act3	緩和ケアチーム介入後の評価ができていない		
2017年度のPlan : 改善計画① (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)		2017年度の改善計画①に対して実施した内容・1年後の目標達成状況	
目標	計画	Do : 実施した内容	Follow-up (Check) : 1年後の目標達成状況・理由
緩和ケアチームの依頼方法や依頼内容、依頼する手段などについて院内周知を図る	・依頼方法について、院内周知（対象疾患・対象となる症状、依頼手順など）を図る ・現在、医師からの依頼のみを受けているが、メディカルスタッフが緩和ケアチームへの介入依頼の必要性を認識した場合には、主治医と介入の是非について検討することを提案する	<目標>緩和ケアチームの依頼方法や依頼内容、依頼する手段などについて院内周知をする ①病院の職員対象の電子カルテの掲示板に依頼方法を示した。 ②病棟看護師が間くぁケアチームの介入の必要性を認識した場合、主治医と介入の是非を検討できるようサポートする。 ③病棟看護師が緩和ケアチーム介入の必要性を認識した事例において主治医に提案できるよう、具体的な提案方法の提示や主治医に緩和ケアチーム介入の必要性について専従看護師が対面で情報共有する機会を設ける	達成状況：達成している 理由： 依頼方法を病院全体へ広報したり、ラウンド時に医師看護師に声をかけ、介入が必要な患者がいるか確認した。看護師が必要と思った患者は代弁して、意思に必要性を伝え、介入させていただいた。また、必要時依頼方法を伝えるなど行った。
2017年度のPlan : 改善計画② (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)		2017年度の改善計画②に対して実施した内容・1年後の目標達成状況	
目標	計画	Do : 実施した内容	Follow-up (Check) : 1年後の目標達成状況・理由
依頼元・特に看護チームとの多職種カンファレンスを行い、治療やケアの方針を統一する	①専従看護師が情報提供するためにカンファレンス前にチーム介入患者の情報を提供し、必要であれば調整してカンファレンスを企画してもらった。 ②ラウンドごとに受け持ち看護師に声をかけて、困難な状況を聞き、必要時緩和ケアチームカンファレンスで検討後、病棟カンファレンスを調整した。	<目標>依頼元・特に看護チームとの多職種カンファレンスを行い、治療やケアの方針を統一する ①専従看護師が情報提供するために緩和チームカンファレンス前にチーム介入患者の情報を提供し、必要であれば調整して多職種カンファレンスを企画してもらった。 ②ラウンドごとに受け持ち看護師に声をかけて、困難な状況を聞き、必要時緩和ケアチームカンファレンスで検討後、病棟カンファレンスを調整した。	達成状況：概ね達成している 理由： 調整し、なるだけカンファレンスをもてるようにした。しかし、依頼元の医師の都合が合わない場合あり、その時は看護師とカンファレンスをもち、病棟看護師に依頼して医師と情報を共有してもらった
2017年度のPlan : 改善計画③ (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)		2017年度の改善計画③に対して実施した内容・1年後の目標達成状況	
目標	計画	Do : 実施した内容	Follow-up (Check) : 1年後の目標達成状況・理由
振り返りカンファレンスや病棟主催のデスクカンファレンスに参加し、チーム介入を評価する	・緩和ケアチームメンバー内で振り返りが必要な事例を選択し、定例のカンファレンス後に10分程度振り返りカンファレンスを行うこと、または病棟のデスクカンファレンスに参加することを通して、介入に対する振り返りを行う機会とする。 ・チーム内の振り返りカンファレンスを行う際は、事前に専従看護師がチームメンバーに患者名やID、振り返る内容を情報提供し、短時間で行うことができるよう調整を行う。また、カンファレンス内容は、カルテに記録として残すことにする。	<目標>振り返りカンファレンスや病棟主催のデスクカンファレンスに参加し、チーム介入を評価する ・緩和ケアチームメンバー内で振り返りが必要な事例を選択し、定例のカンファレンス後に10分程度振り返りカンファレンスを行うこと、または病棟のデスクカンファレンスに参加することを通して、介入に対する振り返りを行う機会とする。 ・時間的な余裕がなく、何度か実施するが、継続が難しかった。 2019年1月時点で3件 ・チーム内の振り返りカンファレンスを行う際は、事前に専従看護師がチームメンバーに患者名やID、振り返る内容を情報提供し、短時間で行うことができるよう調整を行う。また、カンファレンス内容は、カルテに記録として残すことにする。 と計画したが、①時間的な余裕がなく、何度か実施するが、継続が難しかった。②病棟のデスクカンファレンスに積極的に参加するようにした。	達成状況：あまり達成していない 理由： デスクカンファレンスの実施は2件で、予定されているのは3件である。介入の振り返りカンファレンスは実施できておらず、今月から実施予定である。 下半期緩和ケアチーム介入が多くなり振り返りカンファレンスに当てる時間がチームカンファレンスの時間になってしまった。

2018年度のAct : カンファレンスによって抽出されたチームの課題・問題点			
Act1	病棟・緩和チーム間、緩和ケアチーム間での情報共有が少ない		
Act2	依頼元、特に看護チームとのカンファレンスの機会が少ない		
Act3	緩和ケアチーム介入後の評価ができていない		
2018年度のPlan : 改善計画① (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)			
目標	計画		
①病棟医師、看護師との情報共有が出来る,②緩和ケアチーム内の情報共有が出来る	①テンプレート作成し、情報がわかりやすいものとする ②テンプレートを参考にチームカンファレンスを行い、議題の的がずれないように試みる		
2018年度のPlan : 改善計画② (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)			
目標	計画		
①病棟医師、看護師との情報共有が出来る ②緩和ケアチーム内の情報共有が出来る	①緩和ケアチームで情報を共有できるよう、カンファレンスで活発に発言し、得た情報を提供する。 ②必要時はカンファレンスがない日でも必要な専門職に情報を提供する。 ③必要時病棟でカンファレンスが出来るよう調整していく。 ④処方や経過は適宜病棟スタッフに伝える ⑤緩和ケアチームラウンド時に病棟看護師に声をかけ、困っていることなどを聞き、介入する		
2018年度のPlan : 改善計画③ (上記の課題・問題点についての目標と具体的な改善計画)			
目標	計画		
①病棟医師、看護師との情報共有が出来る ②緩和ケアチーム内の情報共有が出来る ③振り返りカンファレンスや病棟主催のデスクカンファレンスに参加し、チーム介入を評価する	①緩和ケアチームで情報を共有できるよう、カンファレンスで活発に発言し、得た情報を提供する。 ②必要時はカンファレンスがない日でも必要な専門職に情報を提供する。 ③必要時病棟でカンファレンスが出来るよう調整していく。 ④処方や経過は適宜病棟スタッフに伝える ⑤緩和ケアチームラウンド時に病棟看護師に声をかけ、困っていることなどを聞き、介入する ⑥病棟のデスクカンファレンスに参加する。 ⑦緩和ケアチームで2ヶ月に1度振り返りカンファレンスを行う		